

《近世分家大名論》

图书基本信息

书名：《近世分家大名論》

13位ISBN编号：9784642034470

10位ISBN编号：4642034471

出版时间：2011-2

出版社：吉川弘文館

页数：310

版权说明：本站所提供下载的PDF图书仅提供预览和简介以及在线试读，请支持正版图书。

更多资源请访问：www.tushu111.com

《近世分家大名論》

内容概要

分家大名は本家によって創出され、本家を守る藩屏となり、一門として本家当主にもなりうる存在であった。また将軍へ奉公を行ったことから、時に本分家に対立することもあった。本書は、分家の役割、同族としての結合と主従制、支配的権威の創出、幕府との関係など、佐賀藩鍋島家の本分家を多面的に分析し、幕藩体制の権力構造を総合的に解明する。

《近世分家大名論》

書籍目録

《近世分家大名論》

版权说明

本站所提供下载的PDF图书仅提供预览和简介，请支持正版图书。

更多资源请访问：www.tushu111.com